

平成 27 年度前期選抜 学校独自検査
出題のねらい

宮城県仙台第二高等学校

(作文検査)

【小論文Ⅰ】

中学校段階で身につけていると思われる「社会」の基礎学力、正確な知識、文章による表現力をみた。

第一問（主に地理分野）

日本の貿易を切り口に、主要輸入品の原油と主要輸出品の自動車に関して、国際関係と国内状況について多様な観点から出題した。基本的な知識を問う問題に加え、地理的思考力・判断力・表現力、及び各種資料を読み取る力を問うことで、地理的な技能をみた。

第二問（主に公民分野）

日本社会の直面する少子高齢化問題を取りあげ、少子高齢化の現状認識、課題発見についての設問とした。人口構成の変化から少子高齢化の現状についての基本的知識を問い、次に資料の読み取りをふまえ、少子高齢化が日本の財政に与える影響、男女共同参画社会を目指す日本における女性の労働者の現状を示すデータから、少子高齢化問題を解決するためにとりうる工夫について論述する技能をみた。

第三問（主に歴史分野）

古代における我が国の律令国家形成の過程と朝鮮半島の人々との関わりについて、地図や図絵など様々な資料から情報を収集し、文章にまとめることをとおして、歴史的な知識・思考力・資料活用力・表現力などをみた。

【小論文Ⅱ】

第 1 問（主に化学分野）

身のまわりの物質を区別するために、中学校で履修する科学的な知識や実験体験を結びつけられるか、そして理解が深まっているかをみることを意図とした。それらを総合的に「複数の固体を分離する」という技能に応用することができるか、そしてその思考をきちんと表現できるかを問う内容とした。

第 2 問（主に物理分野）

豆電球の抵抗は一定ではなく、電圧や電流により変化することは、実験のデータから求めることができる。このとき、実験データの取り扱いを理解し、正しい計算ができるか、また回路に流れる電流や加わる電圧についての知識をもとに、電流と電圧の関係を正しく表現できるかを問う内容とした。